



# 学校便り

体罰スローガン:「体罰根絶に向けて 全員で行う、ひとりよがりにならない指導を宣言します」

## 学校評価アンケート分析結果の報告

校長 島津 睦雄

令和2年度の「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。

2月号では学校評価アンケート分析結果を紙面にて報告いたします。なお、3月の保護者会では、令和3年度の教育計画（抜粋）と学校評価アンケート（概要）を説明する予定です。

アンケートの分析結果は、達成度85%以上と約70%の合計割合が70%以上になっている評価を、肯定的回答と考えて、表記しています。

- 1.学校（先生方）は、教育目標や学年・学級の目標をわかりやすく伝えている。
- 3.学校（先生方）は、積極的にあいさつ運動に取り組み、健全育成に生かしている。
- 4.学校（先生方）は、生徒が安心して通えるところになっている。
- 5.学校（先生方）は、体罰や不適切な指導がない、学校づくりに努めている。
- 6.学校（先生方）は、いじめ防止基本方針に基づく、いじめ対策を実施して、すべての生徒が安心して充実した学校生活を送るように生活指導の徹底を図っている。
- 7.学校（先生方）は、教科指導に力を入れ、わかりやすい授業、楽しい授業となっている。
- 8.学校（先生方）は、常に生徒や保護者にとって相談しやすい環境を整えている。
- 9.学校（先生方）は、様々な悩みに対して、スクールカウンセラーとの連携をしている。
- 10.学校（先生方）は、宿題や課題などを出して、家庭学習ができるようにしている。
- 12.学校（先生方）は、スタディサブリを活用した学習を保障するために、時程を工夫して取り組んでいる。また、家庭におけるスタディサブリ学習にも計画的に力を入れて取り組んでいる。
- 14.学校（先生方）は、安全指導や避難訓練を実施し、自分の身を自分で守る指導をしている。
- 15.学校（先生方）は、道徳教育に力を注ぎ、思いやりの心や規範意識を育てている。
- 16.学校（先生方）は、生徒の部活動に熱心に指導し、積極的に入部できる体制を整えている。
- 17.学校（先生方）は、清掃活動や美化活動に取り組み、校舎内は常にきれいにしている。
- 19.学校（先生方）は、ホームページなどの更新、学校だよりなどで情報を的確に伝えている。
- 20.学校（先生方）は、食育指導の下に毎日おいしい給食を提供している。
- 23.学校（先生方）は、生徒の主体性を育てる生徒会活動や委員会活動に取り組んでいる。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休校、学校行事の中止等で、学校評価が難しい項目「2、11、13、18、21、22、24」は除外しました。

### 1. 結果の分析（肯定的回答が70%を下回った評価項目）

#### ① 生徒・保護者・教職員が共通及び教員のみ項目

- 本年度は、肯定的な回答を下回るの項目はありませんでした。

#### ② 生徒・保護者共通項目

- 「19.学校（先生方）は、ホームページなどの更新、学校だよりなどで情報を的確に伝えている。」… 生徒（63.7%）、保護者（66.7%）でした。

#### ③ 生徒のみ項目

- 「9.学校（先生方）は、様々な悩みに対して、スクールカウンセラーとの連携をしている。」… 生徒（63.8%）でした。

#### ④ 保護者のみ項目

- 「6.学校（先生方）は、いじめ防止基本方針に基づく、いじめ対策を実施して、すべての生徒が安心して充実した学校生活を送るように生活指導の徹底を図っている。」… 保護者（69.1%）、でした。
- 「12.学校（先生方）は、スタディサブリを活用した学習を保障するために、時程を工夫して取り組んでいる。」… 保護者（67.5%）でした。
- 「16.学校（先生方）は、生徒の部活動に熱心に指導し、積極的に入部できる体制を整えている。」… 保護者（67.5%）でした。

## 2 改善の方針

前記の「肯定的回答が70%以下」の項目について、当面、改善を要する課題と考え、今後の対応方針を整理します。

- ① 生活指導に関わる「いじめ防止基本方針に基づく、いじめ対策を実施して、すべての生徒が安心して充実した学校生活を送るように生活指導の徹底を図っている」ことに対して、生徒（78.7%）、保護者（69.1%）、教職員（90.4%）であり、生徒は昨年度から、さらに肯定的な回答が伸びています。

いじめ防止対策がまだ不十分なこともありますので、今後は全教職員でしっかりと受け止め、きめ細かな指導体制を整え、報告・連絡・相談を学校組織で行うよう努めます。

心の教育の充実を図るためにも、道徳教育では生徒（78.2%）、保護者（70.7%）、教職員（90.5%）の結果を受け止めて、全教育活動を通して「けじめや節度のある人間関係づくり」を学校経営の柱とし、望ましい人格形成を目指します。

「道徳科」の充実と生徒の集団的な主体性や自主性を育む指導を継続していくことから、いじめのない学校づくりに努めてまいります。

- ② 教育相談に関わること「常に生徒や保護者にとって相談しやすい環境を整えている」に対しては、生徒（77.9%）であり、スクールカウンセラーとの連携は、生徒（63.8%）、保護者（70.7%）であり、生徒の肯定的な回答が60%を超え、スクールカウンセラーを活用した悩み相談などの体制が整い始めました。今後もスクールカウンセラーの給食時の関わり、教員は給食や清掃活動などで平素から生徒の良さや特徴を着実に捉える姿勢を保持しながら、カウンセリングマインドを用いて生活指導を行いながら、常に「受容・共感的生徒理解」への理解を深めながら取り組んでいきます。

- ③ 学習指導に関すること「教科指導に力を入れ、わかりやすい授業、楽しい授業となっている」に対して、生徒は（92.1%）、保護者（77.2%）、教職員は（90.4%）でした。「宿題や課題などを出して、家庭学習ができるようにしている」は、保護者（70%）が共に肯定的な回答になりました。教員の日常的に関わる教科指導・スクラムサポート事業などの成果の結果となっています。次年度から GIGA スクール構想も始まるため、オンライン授業やタブレットを活用した学習支援など、生徒の確かな学力に結びつくように、全校体制で取り組んでいきます。

本年度は、コロナ禍で保護者が学校に足を運んでいただく機会をもつことができませんでした。この数年間で、神中生が大きく変容している姿が見受けられます。次年度は参観の機会を通して、確認していただきたいと存じます。

- ④ 学習指導に関することでは、6月から本格的にスタディサブリを活用した学習スタイルは定着しています。次年度からは一人一台端末を配付して、継続した学習システムが構築されます。本年度をもって、スクラムサポート事業は終わりますが、教員によるフォローアップ体制を整え、生徒の学習支援に取り組んでまいります。

